

公開里山セミナー

ナラ枯れの原因と防止対策

美しい雑木林の「ナラ枯れ」の原因を知り、未然に防止するための方策を学びます



カシノナガキクイムシ

成虫の体長4〜5mm。多くの樹種に穿孔するが、主にブナ科のコナラ、ミズナラ、アカガシ、ウラジロガシ、マテバシイなどの生立木を好む。アタックのピークは初夏。最初にオスが穿り、ここで特殊な共生菌（アンブロシア菌）を栽培して幼虫を育てる。本州での被害は主に日本海側、九州では鹿児島県と宮崎県に限定される。近年各地で生じているコナラ、ミズナラの集団枯損には本種が運ぶ病原菌が関与しているという。

写真：カシノナガキクイムシ雌成虫（左）と被害材断面（右）、被害を受けた森林（背景）

写真と文章提供：森林総合研究所

講師：**牧野俊一氏**（独立行政法人森林総合研究所 森林昆虫研究領域領域長）

1月15日(土) 10:00 - 12:00 (入場無料)

ひたち野リフレ4階会議室

定員80名（事前予約不要／当日9:30より先着順）

対象：「ナラ枯れ」に興味をお持ちの皆様ならどなたでも

主催 特定非営利活動法人うしく里山の会

協力 独立行政法人森林総合研究所、牛久自然観察の森、牛久市

お問い合わせ 特定非営利活動法人うしく里山の会事務局 029-874-6600（呼出）



◎ひたち野リフレはJR常磐線ひたち野うしく駅前。4階会議室へはエレベーターをご利用下さい。（住所：牛久市ひたち野東1-33-6 029-878-5211）

◎車でご来場の際はひたち野リフレに隣接の駐車場をご利用ください。（有料）